

다이내믹

193. 2. 19

国連人權委で対日非難

慰安婦問題 韓国代表「過去の清算を」

【ジュネーブ19日伊藤芳明】国連人權委で駐ジュネーブ韓国政府代表部は十八日、旧日本軍の従軍慰安婦問題に關し「日本が自発的に過去の罪を清算しなければ、友好関係はありえない」

と與例ともいえる強い調子の対日非難を展開した。同代表部は「わが國の調査では彼女らは強制と暴力で旧日本軍兵士の性的奴隷にさせられたと信じられ、日本政府がこれに深く関与

していたことは証明されている」と強調した。韓国政府代表部は昨年八月の国連人權委の差別問題小委員会でも慰安婦問題について発言しているが、これほど強い調子の対日非難

は初めて。

またこの日の協議で在日朝鮮人らが中心になつた「朝鮮人強制連行真相調査団」など日本、韓国、オランダの三つの非政府組織から慰安婦問題の真相究明を求める発言が相次いだのを受け、日本政府代表部は「日本は心からの謝罪の意を表明、補償問題を含め真剣に取り組んでいる」と短い釈明を行った。